

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	「地域と繋がっていきたい」という今年の目標を達成するためにも、地域のミニデイをはじめ地域への働きかけに期待したい。	近隣の幼稚園児との定期的な交流は継続、更に地域老人クラブの方と交流が持てる。	地域自治会、関係者の方々へ働きかけ、実現できるよう取り組む。	12ヶ月
2	33	利用者、家族の安心と納得が得られるよう繰り返しの意思確認と職員との方針の共有、不安を取り除くためにも繰り返しの研修や勉強会の開催に期待したい。	研修や勉強会を開催し、事業所でできることや方針を共有していく。又、利用者や家族が安心できるよう繰り返しの意思確認を行っていく。	①協力医療機関である訪問看護ステーションと連携し、勉強会を開催する。その際は家族の参加呼びかけを行う。 ②利用者、家族が出席する年2回の担当者会議の場で終末期の在り方について意思確認をする。	12ヶ月
3	35	家族等へ避難場所の周知や災害に備えた備蓄等の準備に期待したい。	家族や関係者へ避難場所の周知を図る。備蓄の方法を検討していく。	家族、関係者へ、文書を作成し、避難場所の周知を行っていく。又、災害時に備えた備蓄の整備を検討する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。